

職員研修 報告書・レポート

平成30年11月13日(火)

氏名：濱刈 麻友

① 研修名： 第26回職業リハビリテーション研究・実践発表会

② 研修内容 ③ 成果/感想 ④今後の支援に活かすため、具体的に実行する行動

・ナビゲーションブック作成について。作業等を通し、本人と振り返りを行い、それを材料としてナビゲーションブック作成に移るといった基本の流れを確認できた。作業は、MWSをより活用したい。

・特別講演について。弁護士という、普段関わりの少ない職種からの話はとても興味深かった。事実と認識、それを対話していくことの大切さは、私たちの仕事に共通するものだと感じた。認識を出し合い、気づきをお互いに生み出すことはやっていきたい。

・パネルディスカッション(1)について。作業の切り出しは、定義を作ってそれに照らし合わせる方法があることを知った。企業が支援機関のノウハウを期待しているように感じた。と同時に、企業自体への、企業が雇用管理のスキル付与・向上・蓄積が必要と感じた。制度や特性、方法など、知識を蓄え、それをプレゼンできるように準備したい。企業がプライバシーを気にして、遠慮して聞かないこともあるという発言があったので、支援者が持っている情報、採用後に想起されることを真摯に伝えることは必要と感じた。生活面にはやはり企業は入っていけない風土があるようなので、必要なサポートのコーディネートについても支援者として関わっていきたい。

・口頭発表(1)発達障害について。「気づきを促す」のが支援の本質なのだと思う。関わり方として、スキル付与の視点だけではなく、元々の持ち味や課題を気づいてもらい、納得を得ることが大切だ。それが次の行動を生むパワーになっている。梅永先生の新しい本は、早速手に入れて実践に移りたい。

・口頭発表(2)精神障害について。MWS新規課題のコンセプトを知れてよかった。既存課題との難易度の差や、対象者の多様性など、実感していることだったので、早く発売してほしい。

・ポスター発表について。ポスター周辺に人がたくさん集まったのは嬉しかった。精神障害者への支援のヒントを求めて来られている方が多くいるように感じた。今月末もしっかり学びたい。

・パネルディスカッション(2)について。キャリアアップと体調管理が密接に関わっていると思うので、より具体的に取り組みについて聞いてみたかった。また、地域に特例子会社がないので、そうではない会社の話も聞いてみたかった。雇用管理として、枠組みがあることのメリットは理解した。

※全体を通して。企業参加が46パーセントと聞いた。正しい知識と理解をもち、企業にプレゼンする力をつけていきたい。また、職業準備性のアセスメントが不十分なまま、企業に就職させるような無責任なことは気をつけたい。

心理的安全という言葉も知り、特性としあたい、不安や心配を感じやすい認知のクセを念頭に置き、安全を感じてもらえるような対人業務の仕方や、チームでの仕事の仕方を考えたい。